

第5回 私のまちのたからもの 2013年度

日本ユネスコ協会連盟より「私のまちのたからもの」スライドショーコンテストの募集要項が各学校に配布されていると思います。本年度、各学校で取り組まれたことを発信する機会として、スライドを作成されたいかがでしょうか。募集要項の一部を紹介します。

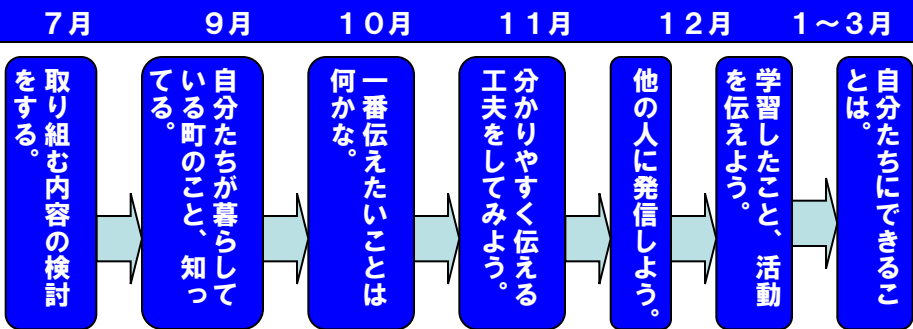
日本ユネスコ協会連盟では、児童、生徒が地域の文化や自然を愛し、誇りを持って守り伝えていこうとする気持ちを育むことを目的に標記事業を実施しています。「世界の人に伝えたい、私のまちのたからもの」をテーマに、自分たちで撮ったデジタル写真に文字やナレーション、音楽を組み合わせた地域の魅力を紹介する1分30秒間のスライドショー作品を募集します。地域学習のまとめの時間などにぜひ取り組んでみてください。受賞者は、2014年3月の授賞式にご招待します。たくさんのご応募をお待ちしています！

- ◆募集期間: 2013年6月10日(月)～2014年1月14日(火)
- ◆対象: 全国の小・中・高等学校の児童、生徒
 - ※学校の授業やクラブ活動で取り組むことができます。
 - ※音声あり、音声なし作品いずれも可。
- * 詳しくは、ホームページをご覧ください。



授業で取り組むには

べ切りは1月14日必着



ユネスコスクール研修会 8月27日(火) 10:00

「自校が目指すESDにおける児童・生徒の姿について」

○各学校のESDの取り組みと目指す児童・生徒の姿をご準備ください。

大牟田市立駿馬北小学校の実践

地域のひと・もの・こととの「かかわり」「つながり」を通して

世界遺産候補「宮原坑跡」を中心に「世界遺産・地域の文化財に関する教育」と「福祉教育」に取り組み、校区探検や老人施設訪問、地域行事の「かっぱ祭り」への参加、GTの活用等を通して、地域のひと・もの・ことと かかわったり、つながったりしながら、これから自分たちが地域に対してできることを考え、発信しています。このような活動を通して、地域に対する愛着や思いやりを深めています。



大牟田市立吉野小学校の実践

「吉野小ビオトープ」を通して

吉野小学校の4年生は、「日本古来からの生物が生息するビオトープを作ろう」というテーマで、「吉野小ビオトープ」を充実する活動に取り組んでいます。学習を進めていく中で、日本古来の生物の減少やそれを脅かす外来種の存在を知り、生物が集まってくる環境を作り、守ることが大切なことに気づいていきました。実際にビオトープを作る活動では、外来植物を撤去し、メダカをいれました。今では、たくさんのメダカがビオトープの中を泳いでいます。今年は4年生がこの活動を引き継ぎ、昆虫や野鳥が集まるビオトープ作りに取り組んでいます。

